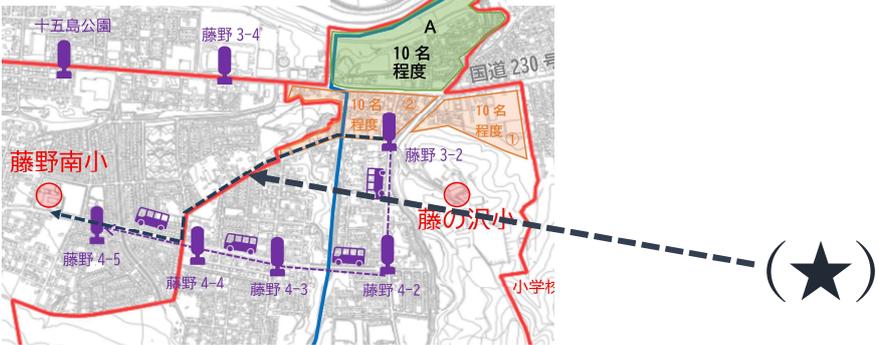


資料2 地域や保護者等から寄せられた意見

日時・方法等	内容	分類
06.04.30 不明 市 HP	<p>藤の沢小学校に通わせている保護者です。 今の調子で後何年藤の沢小学校はあるのでしょうか。 よく、閉校するんでしょ？と世間話に上がりますが、札幌市としての期限の目処はあるのか気になっております。今質疑応答されている別れる学区問題、その利用する公共機関や負担額、見守り体制、指定変更区域の設定を決めたら翌月には閉校になるのでしょうか？ 合併の場合、藤野南と石山緑と藤の沢では教科書や使っているタブレット端末やお道具箱等は同じなのでしょうか？合併開始するにしても授業の進捗がちがうので新年度の4月からスタートではじめていただきたいです。 他もろもろあるかと思いますが、検討しなければならない議題について、最低限だけでも(その後そこから多数の分岐がでるとしても)決めることをリストにして藤野地区学校配置検討委員会ニュースに掲載いただけると進捗が分かりやすいかとおもうのですが、いかがでしょうかと思っております。ご検討の程どうかよろしくお願いします</p> <p>(事務局回答) <u>札幌市として、期間・期限等は定めておらず、現段階においてお示しできる具体的なスケジュールというものはございません。</u> <u>しかし、子どもたちが新しい環境に円滑に移行できるよう、ご心配されている学習用具等も含めて、学校間で教育活動に関する検討・調整等を行う必要があるため、検討委員会としての結論が出て数か月後に統合校としてスタートすることは困難であると考えております。</u> <u>なお、教科書については札幌市内の市立学校においては、同じものを使用しております。また、タブレット端末についても(見た目が若干違う場合があります)同じものと考えていただいて結構です。</u> <u>ご意見については検討委員会の場で資料として提示し、より進捗の伝わりやすいニュースレターの在り方等、ご指摘いただいた内容も踏まえて協議を進め、学校配置検討委員会ニュースを通じて検討結果をお伝えしてまいりますので、今後も本地区の取組に係るご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。</u></p>	取組全般
06.05.02 不明 メール	<p>第5回藤野地区学校配置検討委員会当日資料の資料3にある『藤野2条1丁目9周辺藤野南小<2.1km 35分>』とグレー破線で記したコース(藤野1号通から右折して斜めに上る道(★))は通学路に適しているかの調査はされておりますでしょうか。</p>  <p>藤の沢小学校の児童でこの道を通っている児童もいるから問題ないとお考</p>	取組全般

えなのであれば再考いただきたいです。この道は一部歩道がない区間があり、歩道がある場所でも幅は狭く安全性に欠けています。

コープ藤野店横の道路から東側の区域は、藤野通を通る以外で国道 230 号へ出るにはこの斜めの道を通るしかないため、狭い道であるのに車通りが多く、いつも通る道なのかスピードを出して通る車も多いです。

特に藤野福音教会付近は歩道がなく、教会角の十字路は、停止線はあるものの止まれの標識が横の家の庭木が生い茂り見えづらく、かつ見通しも悪いいため、事故やひやっとする場面を目撃することも多いです。

通学路の実地調査を行っている地区もありました。(豊平地区学校配置検討委員会ニュース第 4 号(令和 6 年 1 月発行)より)

もし調査されていないのであれば、実際に検討委員会の皆さんで歩いてみてはいかがでしょうか。

2 km という決まりが単に「最短距離が」ということででないならば、そういった調査をしっかりと行い安全な通学路を想定して 2 km を超える対象区域の選定をお願いしたいです。場合によっては委員会として、道路を管理する機関等へ危険個所の解消を求める動きも必要と思います。

実費負担でもバス通学が可能になる場合もあるとの追加案は大変ありがたいですが、率直な意見としては、道路 1 本、2 本の差で助成が 0 か 100 となるのは納得できないかもしれません。2 km 超えとする A の地区で目安下限距離は 1,340 ~ です。2 km 未満とされている地区での目安上限距離は① ~ 1860 m、② ~ 1630 m です。定期代助成となる目安下限距離に住む児童より定期代助成対象外となる目安上限距離に住む児童の方が 300 ~ 500 m 程も遠いです。

数年間の定期代が家計の負担に増えることになり、バス通学させたくてもできない家庭もでてくると思います。そうなる結果的に児童に負担がかかります。そういったところまでを想像してさらにご検討いただきたいと思います。(通学費助成の有無は家庭の収入に関係なく距離できるとの理解ですが相違ありましたら申し訳ございません。)

また、第 5 回までの委員会ニュースを拝見していて一部の人達の中での検討になっているように見受けられます。検討委員会ニュースでの周知には限界があるように思いますが、閲覧数やダウンロード回数などは確認、管理されているでしょうか。少なくとも将来小学生になる子供がいる家庭への周知は徹底し、もっと多くの意見や質問などを受けて委員会を進められた方がよりよいと思います。見守り活動で支えていただく周辺地域のご家庭への周知にも注力し、どのような協力を得られるか、どういった懸念があるかなどを把握した上で様々な面からの考慮が必要と思います。段階的にアンケートを実施し住民の意向確認を行うこともよいかと思います。また、小学校で行ったアンケート結果などの公表も希望いたします。

保育・幼稚園、スーパーや公共施設などにご協力いただきチラシ等の設置や掲示板の利用、町内会回覧板で検討委員会ニュースの配布、南区 HP お知らせに検討委員会ニュースを UP するなどいろいろと策はあるのではないかと思います。札幌市の LINE のお知らせ通知など活用できるものはないのでしょうか？また意見や質問をするのをためらう人達も多いと思いますので、「意見を募集しています」のような積極的な表現で住民等からの声を集めてほしいと思います。

	<p>また、統合により児童を集中させることによって地域の活性化や、公園や施設、道路等の交通面における周辺環境改善は見込まれますか。(藤野南小周辺の小さな公園は遊具の老朽化や旧式の遊具ばかりで子供たちの遊び場がないと思います。)</p> <p>教育面においては、小中一貫した教育を考慮した学校区域の協議となっておりますでしょうか。学区の選択肢ができることは保護者目線ではありがたいですが、それがこどもの教育面に配慮されている結果であるのかどうか疑問です。札幌市が令和4年度から全ての市立小学校と中学校で「小中一貫した教育」を実施していることを考えると、基本、石山中学校となる地区の児童は石山緑小学校を基本とする考えもあるのではないかと思います。</p> <p>少人数よりはイベント時やクラス編成、コミュニティ面などで有意だから、ということ以外に統合されることによるメリットがあるのかをお知らせいただきたいです。特に教育面についての説明をお願いしたいです。よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局回答) <u>このたびは「学校配置検討委員会ニュース」をご覧いただき、また貴重なご意見をお寄せくださいましたこと、心から感謝申し上げます。</u> <u>今回お寄せいただいたご意見につきましては、今後の学校配置検討委員会において、他に寄せられたご意見とともに報告し、参考にしながら検討を進めてまいります。</u> <u>なお、協議内容や事務局の考え等につきましては、学校配置検討委員会ニュースを通じてお知らせしてまいります。</u> <u>今後も、学校配置検討委員会ニュースをご覧いただくとともに、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。</u></p>	
<p>06.05.13 不明 メール</p>	<p>学校配置についての意見です。 家庭に配布される藤野地区学校配置検討委員会ニュースを拝見していますが、藤の沢小学校廃校ありきでの議論がなされているように思うのですが、藤の沢小学校が廃校されるのは決定事項なのでしょうか？</p> <p>(事務局回答) <u>統合は決定事項ではございません。</u> <u>教育委員会としては、「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」に基づき、子どもたちのより良い教育環境を目指して、藤の沢小学校の小規模化による課題を解消していく必要があると考えております。</u> <u>そのため、「藤の沢小学校→藤野南小学校に統合」という取組案を基にして、統合に当たっての課題は何か、それをどのように解決できるか、本当にそれを解決できるか等を検討委員の皆様協議いただいているところです。</u> <u>また、検討委員会の内容についてはニュースレターやHPを通じて公開し、地域からご意見をいただくようにしております。地域から寄せられた全ての意見については、検討委員会での協議の参考にさせていただくとともに、HPにも公開しております。</u> <u>今回いただいたご意見につきましても、検討委員会に報告させていただくとともに個人の特定に繋がる表現を除いた形でHPへの掲載もさせていただきます。</u></p>	<p>取組全般</p>